

■「ドルコスト平均法」ってなに!?

～安いときに多く、高いときに少なく買って安心～

資産運用について考えるとき、よく聞くキーワード「ドルコスト平均法」とはなんですか？
ドルだからアメリカ？コストがかかるのかな・・・。初めて耳にする方には、難しい言葉かもしれません。

要するに、「安いときに多く、高いときに少なく買うことで、購入する平均単価を下げる効果がある」という投資法です。

株価や債券の価格はいつも上下しており、時間を分散して毎月積み立てて買ったほうが、購入時期を分散することができるため高値をつかむ可能性が減り、リスクの分散になるという考え方なのです。

一株ごとに購入した場合

株価の推移

2,000 円→2,500 円→5,000 円→2,500 円

平均株価は **3,000 円**

月々1万円積み立てると...

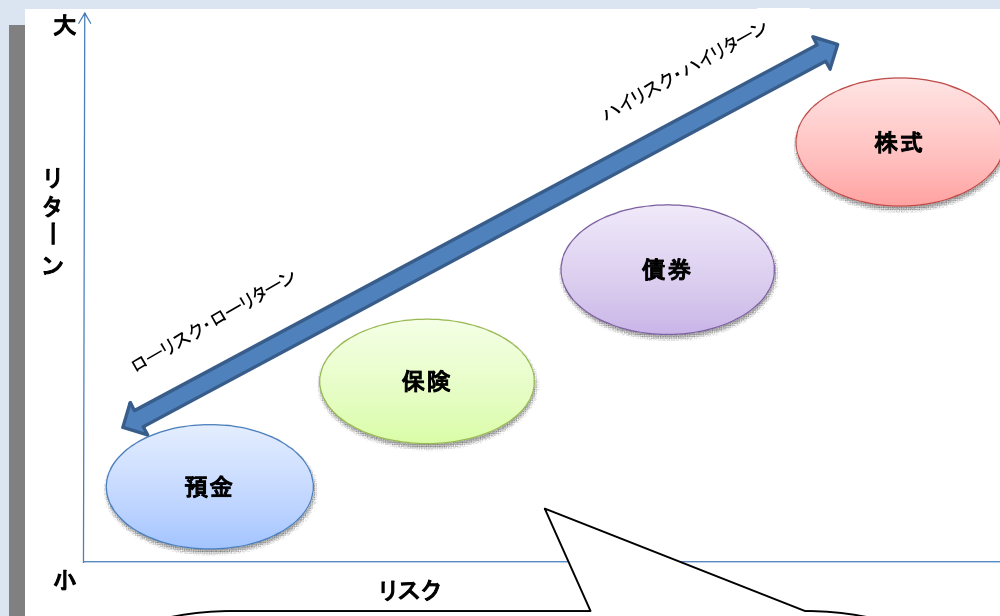
2,000 円→2,500 円→5,000 円→2,500 円

× × × ×

5株 4株 2株 4株

平均取得額は4万円÷15株=約**2,666円**

平均単価が下がりやすい→利益が出やすい



「リスク」
って..?

値上がりや値下がりといった「価格変動リスク」や、投資先が破たんするなどの

「信用リスク」など、一口にリスクといってもさまざま。

リスクとリターンは相関関係にあります。

“ローリスクでハイリターン”の商品はないと考えてよいでしょう。

金融商品ごとに、リスクの高低は異なります。

「どこまでリスクを許容できるかによって選ぶ商品も変わってきます。

自分に合った商品選びが重要です！



運用は「長期的に」「継続して」「分散して」
リスクを抑えるのがコツなのじゃ